

コミュニティ・スクールの発足

1 児童生徒の健全育成を図るこれまでの学校と地域との連携

日吉町では、コミュニティ・スクール発足前より、まちづくり推進協議会、区長会、公民館、子ども会、PTA等が連携し、子どもたちの健全育成を図る取組を継続して進めてきました。

子どもたちが自由に参加できる催し物（にじ色ファームでの野菜作り、日吉町文化祭、天神窯祭り、夏祭り、自然観察会、公民館で遊ぼう教室、スキー教室、中山道往来等）や子どもを見守る活動（青色回転灯パトロール）を展開してきました。また、小学校の学習支援（講師派遣や出前講座、里山体験学習、寿大学とのマレットゴルフ体験など）も実施してきました。

2 日吉小学校のコミュニティ・スクールの発足と運営

学校と地域との連携により子どもたちの健全育成を図る取組を組織的に進めていくために、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を令和4年度よりスタートさせました。

令和3年度に準備委員会を立ち上げ「コミュニティ・スクールの構え」「目指す子どもの姿」等を協議（公民館長、まちづくり会長、区長会長、社会教育委員など14名で）し、方針と方向を決めました。

コミュニティ・スクールの基本的な考え方を「子どもに軸足を置き、これまでの活動（健全育成を図る取組）を見直し工夫改善を加えていく。町民が負担感を抱くような組織、運営にしない。活動に参加して良かったと思える活動にする。」とし、過重負担となりかねない地域学校協働本部は立ち上げず、学校運営協議会を母体として活動していくとしました。

運営組織については「企画会議」「本会議」「拡大会議」を位置づけ、「学習支援部会」「環境・安全部会」「地域活動部会」の3部会制としました。

目指す子どもの姿については「地域を担う子に育てる」（日吉を知り、日吉から学び、日吉のことを考え、行動できる子を育てる）としました。

さらに、コミュニティ・スクール発足に向け、児童、保護者、教職員に対してアンケートを実施し、「ふるさと日吉のよさ」「子どもの健全な成長のために、地域に期待すること」「学校・家庭・地域が連携を深めて取り組んでいくこと」などについて調査し、3部会の年間活動計画を策定しました。

3 組織的な働きかけによる子どもたちの健全育成

これまで、まちづくり推進協議会や各団体が、それぞれで子どもたちを支援してきた活動は、コミュニティ・スクールの発足により3部会「学習支援部会」「環境・安全部会」「地域活動部会」が横の連携を取りながら、地域との懸け橋役となり、統一的に総合的に日吉の宝である子どもたちを大切に育てていけるようになると思います。また、日吉町では、まちづくり推進協議会をはじめ各団体の役職を多くの方々が兼務している現状があるため、学校運営協議会と地域学校協働本部を分けることなく、一体的に設け活動した方が、協議した内容を活動の協力者にダイレクトに伝えることができると考えます。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の活動拠点は、日吉小学校及び日吉町まちづくり推進協議会の事務局を担う日吉公民館に置きます。